

令和5年度 第6回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和5年11月21日(火) 18:00 ~ 18:45

【場 所】 厚田総合センター 2階ホール

【出席者】 15人(13人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教門	○	委員	河合 保郎	○	委員	笹谷 清一	×
副会長	東 幸子	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	岡山 拓	○
委員	小笠原英史	○	委員	平賀 敏和	○	委員	大内きつき	○
委員	村本 龍一	○	委員	今 光江	×	委員	石田 靖子	○
委員	小山 玲子	○	委員	森田 瞳	○	委員	角田 由希	○

厚田支所 ~ 東支所長、吉田課長
 企画課(厚田浜益担当) ~ 吉田主査、後藤主任
 地域おこし協力隊 ~ 奥本隊員、竹林隊員
 集落支援員 ~ 八木沼支援員
 事務局(地域振興課) ~ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 2名

【次第】 1. 開会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 第9期からの引継事項について

4. 協議事項

(1) 今後の地域のあり方について

(2) 過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について

5. その他

6. 閉会

1. 開会

事務局（渡部課長）より、今委員、笹谷委員の2名が欠席することを報告し開会。

2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

3. 報告事項

(1) 第9期からの引継事項について

【 渡邊会長 】

第9期からの引継事項について、事務局から説明をお願いします。

【 事務局（近藤主査） 】

資料に基づき説明

【 渡邊会長 】

今の説明の中で、何か確認しておきたいことはありますか。

第9期からの引継ぎを受けまして、今後皆さんと熱心な議論していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

4. 協議事項

(1) 今後の地域のあり方について

【 事務局（近藤主査） 】

資料に基づき説明

【 渡邊会長 】

前回の協議会で詳しく丁寧なご説明がありましたが、その説明を受けて皆さんがどう感じたのか、今日のご意見を伺ってきたいと思います。

【 小笠原委員 】

10月に委員になったばかりでまだ深く理解できていないのですが、この会でこんな大事なことを決められるのかなというのが正直思ったところです。これから話し合っていくのだと思いますが、難しいことだなと感じています。

【 村本委員 】

難しいことだなと感じております。地域自治区がなくなるということですが、福祉のことをはじめ、必ず残さないといけない機能はありますので、これからしっかりと協議していきたいと思っております。

【 小山委員 】

地域協議会に代わる機能としましては、この協議会は各団体から出てきておりますので、それぞれの意見を基に話し合いができればと思います。

支所の機能については、やはり職員も減ってしまうのではないかとありますが、保健センターに関わる職員は維持していただきたい、減らしてほしくない并希望しております。

【 河合委員 】

私、この会には1期、2期と始めの頃少し関わっていたのですが、やはりこの協議会で話し合って最後は決めていかなければならないことだと思っております。地域自治区の関係は、かなり難しいことではありますが、そう思っております。

【 鎌田委員 】

今までは合併特例法を根拠に協議会を設置してきた、令和8年以降は別の規定を根拠にして何らかの組織を置いて役割を持たせる。支所においても必要な機能を持たせようという説明だったかと思えます。一番いいのは、従来どおり機能を持っていただければいいのであって、私自身はそんなに変わらないんじゃないかという印象があります。住所が少し変わるくらいで。

これから話し合っていく中で、「それはできない」といったものが出てくるのかもしれませんが、現時点では大きな変化はないのではと考えております。

【 平賀委員 】

私もそんなに変わらないのではと思っておりますが、やはり高齢者が多いので、保健センターの機能などは維持できるように人数を減らさないようとか、よく話し合っていきたいなと思っております。

【 森田委員 】

先月ご説明いただきましたが、あまり理解できてないでいます。地域自治区が終了することによって厚田がどのように変わっていくのかが全然想像できません。少しでも厚田が良くなるように決めていければと思っております。

【 岡山委員 】

私の基本的な考えは、厚田の生活であっても石狩市民すべての人と同等でなければいけないと思っております。これは最低限の条件だと思っております。

私が去年引っ越して来たときに一番最初に行ったのが支所です。そこで転入の届け出をする、またその他の手続きもする。例えばそういったサービスを「支所ではできません、市役所へ行ってください。」となるとうまくないです。上下水道とか生活の基本となることについてもそうです、維持されなければいけません。道の駅をキーとする観光、医療や介護、当然今までどおり維持されるべきだと思っております。

あと、「娯楽ってなんだろう」って自分の生活になぞらえて考えたりしますが、ここに住んでいる方が少しでも楽しめるものがあればなと思っております。

住所の関係ですが、一つ方法としてあるのは、私、前任校が村だったものですから、学校で何か大きなことを変えたりするときに全村投票をするんですよ。「目指す子供像」ってCS創るときにやりますよね、この「目指す子供像」を実は全村投票しています。それから、今は多様化ということで、制服を変えるって学校が多いんですよ。男子も女子も同じような制服着れるよということで、制服がセーラーとツメエリだったんですけど、それブレザーに変えるって言うんで、A、B、Cとパターンって作って全村投票しました。

実は2,000人とかの規模だったら、全然できちゃうんですね。めちゃくちゃ簡単でした。今、携帯で投票できちゃうので、それができない人は紙でも投票できるってやったんですよ。

何の話しをしているかということ、結局住所のあり方について、例えば、AとBの候補に絞られたとして、どちらにするというのも地域の方たちの意思で決められるということ、あるいは候補を決めてその可否を取ることもしることができるのです。それが多数決で過半数を超えたとなれば、十分それを認めるに足りる根拠になると思います。そ

ういった根拠のために一つの手段としてあるのかなということを少し提言しておきます。

【 大内委員 】

前回の説明を聞いて自分で思ったことは、この2年間で、地域のために必要なことをみんなで話し合っていければいいなと思いました。支所についても2年後には人数が減るんだろうと、集落支援員と地域おこし協力隊は支所に詰めていて、その他窓口に何人かがいて、それでも協力し合っとうまくできたらなど。地域の名前は単純に区を取って「厚田」を残したいという思いです。

【 石田委員 】

厚田が今後もより良くなっていくために、協議していくことが大切だと思います。

【 角田委員 】

私は初めて地域協議会に入らせていただいて、前回の会議の資料なども目を通したのですが、一番そこで思ったのが、今後の住所表示の面で、やはり先ほど校長からも話しがあったのですが、この場で決めるのもどうかなと思う議案で、できれば地域の方々の声を取り入れることを大事にしていきたいと考えていました。

支所の機能については、やっぱりどんどん人が減っていってしまうと、とても寂しいなという思いがあるので、今の人数でできれば、削減しないでどうにかやっていける方法がないかなと考えていました。

【 東副会長 】

まず一番の地域協議会が担ってきた機能ですが、やはり区がなくなるということで、厚田区地域協議会はなくなるわけですが、似たような問題を解決するような月1回か2回かはわかりませんが、皆さんと顔を合わせてその問題を解決するような機能は必要だと思います。これをこれから構築するために、みなさんと議論していくということになるのだと思います。

支所の機能ですが、先ほど皆さんもおっしゃったとおり、人数は間違いなく減らされるとは思いますが、厚田区に住んでいる皆さんのクオリティーオブライフといいますか、生活の質が下がるようではだめだと思うので、それを担保していただきたいなと思います。

住所表示については、それぞれ皆さんの思いもあるでしょうし、そういう投票みたいなことがもしできるのであれば、そういうこともいいのではないかと思います。

【 渡邊会長 】

皆様ありがとうございます。支所の人数が減っていくというイメージがかなりあるようですが、現状のまま残して欲しいという答申を出せば、それは我々の意見として成るわけですし、地域協議会の代わりになるものが、権限もありますよね、基金の問題も。基金も結構残っておりますので、その使い方の議論も対象になるのかなというところで、また、皆さんと議論していきたいなと思いますので、よろしくどうぞお願いいたします。

【 鎌田委員 】

答申はいつまででしたっけ。

【 渡邊会長 】

来年の6月までですね。あと2年半でなくなるということですが、実際にこの協議会ではあと半年余りで答申を出さなきゃならないという、時間があまりないですがしっかりと議論していきたいと思います。

(2) 過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について

【 渡邊会長 】

それでは、次に参ります。企画課よりご説明お願いいたします。

【 企画課（吉田主査） 】

資料に基づき説明

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。この評価については、昨年我々の意見を聞いていただきまして、分かりやすい資料の作成や説明の工夫をしていただいたのかなと感じております。

目標設定である人口減少の抑制も大事なところだと思いますが、定住人口を維持することも、現に今生活している我々が安心して生活が送れるように事業を進めていただくことも、大事なところなのかなと思っています。したがって、当協議会の評価としましては、昨年と同様に、地域の持続的発展のため必要なインフラ整備や住民サービスなど計画の確実・着実な推進により、人口減少の抑制を図っていただきたいとまとめさせていただき、評価としたいと思いますが皆様よろしいでしょうか。

【 鎌田委員 】

参考資料の見方で、事業実施欄に「○」があって、備考欄に「完了」とあるものは、令和4年度をもって完了したという意味の「完了」なのでしょうか。

【 企画課（吉田主査） 】

「完了」というのは、あくまでも令和4年度に完了したものです。では、5年度同じような事業を行う場合もありますし、5年度ではなく、6年度に違う同じような事業を行う場合もあります。あくまでも4年度分としては完了したという内容となっております。

【 渡邊会長 】

そのほかありませんでしょうか。

ほかにご意見がないようですので、今回このような評価としたいと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

5. その他

次回日程 12月18日（月）18：00～ 望来コミセン

岡山委員より「厚田学園の教育に関わってくださる方」の紹介

6. 閉会

18時45分に閉会。

令和5年12月8日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡邊教円